

日野稲門会

第7号



がわら版

日野稲門会事務局
 日野本町 5-13-2
 宮本方 ☎080-3205-0583
 編集責任者 五十嵐耕一
<https://new.hinotomonkai.org>

会長あいさつ

日野稲門会会長 京極 英二（昭46・政経）

皆さま

あけましておめでとうございます。穏やか新年をお迎えされたとお慶び申し上げます。
 令和7年はちょうど昭和100年にあたります。昭和生まれがほとんどの皆さんは感慨もひとしおと推察します。

昨年は総会、収穫祭、各同好会の賑わい等、従来以上に活性化した稲門会活動であったと思います。皆さまのご協力に感謝いたしております。

地域稲門会の目的は「会員相互の親睦」、「母校支援」、「地域貢献」の3つであります。

（これは、支部・他の地域稲門会とも同じです）

令和7年度には更に日野稲門会を飛躍させるため、以下の課題を推進していきたいと考えています。

- （1）女性会員の増強（女性役員の就任を含む）
- （2）若手会員が参加しやすい環境整備
- （3）同好会活動の活発化（現在12の同好会があります、別表）
- （4）三多摩支部の活性化に取り組んでいきます。

今年最初の行事として2月9日に新春懇談会を多摩平交流センターで開催いたします。多数の参加をお願い申し上げます。

イベント予告

令和7年 映画上映会・新春懇談会

今年も上映会・新春懇談会を下記のとおり開催いたします。皆さま方大勢のご参加をお待ちしています。

★日時：2月9日（日）14：00～16：00 上映会

16：30～18：30 新春懇談会

★場所：多摩平交流センター3階 集会室6（中央線豊田駅徒歩5分/イオンモール多摩平隣り）

上映会「万引き家族」是枝裕和監督・脚本（2018年カンヌ映画祭「パルムドール」受賞作品）

早稲田大学第一文学部卒の是枝裕和氏が監督した作品。

カンヌ映画祭「パルムドール」（最高賞）を受賞した日本の映画5作品の1つです。

人と人の繋がりが希薄になってきている時代に、万引きでしか繋がりが持てない家族、それでいて笑いが絶えない家族の日々とその変遷を通して家族の繋がりとはいかにかを問いかける、胸を締め付けられるような感動の作品です。

申込方法など詳細は別紙チラシまたは日野稲門会 HP を参照ください 担当：秋田 叔彦

contents

- | | | | |
|-------------------|---|----------------|---|
| ・会長あいさつ、イベント案内 …… | 1 | ・会員皆さんからの投稿 …… | 3 |
| ・イベント報告 …… | 2 | ・同好会連絡先、 …… | 6 |

2025年の主な行事予定

総会の開催について	
1. 日時：令和6年6月8日（日）	
2. 場所：（未定）	
3. 総会態様：総会、講演会または演奏会、懇親会	
詳細はあらためて連絡します	

開催日	行事名	場所
2月9日(日)	上映会・新春懇談会	平山交流センター
3月下旬	お花見	(未定)
4月中旬	多摩川・浅川クリーン作戦(第16回)	浅川一番橋付近
6月8日(日)	総会(第46回)	(未定)
6月中旬(未定)	コスモスアベニュー事業(第28回)	浅川スポーツ公園
10月中旬	美術作品展(第4回)	(未定)
10月中旬	秋の収穫祭(第27回)	日野市役所近くの農地
10月19日(日)	2025稲門祭/ホームカミングデー	早稲田大学キャンパス
10月頃	東京三多摩支部大会(第22回)	(未定)

行事は、諸事情により変更する場合があります（ホームページ、メール、チラシなどで会員の皆さんに連絡します）

12ある同好会の予定は、日野稲門会ホームページの「同好会一覧」からそれぞれ選択して確認できます
<https://new.hinotomonkai.org/club/>

イベント報告

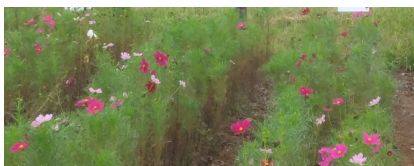
「コスモスアベニュー」

毎年、高幡不動・ふれあい橋北詰めにある浅川スポーツ公園で行われているコスモスアベニューに今年も参加いたしました。有志が集まり、「日野稲門会」と「稲門会三多摩支部」で2区画を申し込み、今年はふれあい橋真正面の一等地を割り当てて頂きました。

有志が集まり、6月16日（日）に区画の草取り・石拾いをして種を蒔き、7月・8月・

9月、月末の土曜日に集まって草取りをするなど世話を続け、手前味噌ですが、コスモスアベニューで一番のコスモス畑が出来たと思います。

今年は、種蒔き後に毎日のように夕立が降り、去年のような水切れの心配が無く順調に育って来て幸運でした。土が痩せていたのか、花数が少々少なく、品種のせいか花も小ぶりだったのは少々残念です。



「第26秋の収穫祭」

今年も10月19日（土）に、18家族30人が参加して、恒例の「秋の収穫祭」を開催しました。丁度、小学校などの運動会や他の行事と重なった方が多く、例年より少々参加人数が減りましたが、その分一人当たりの株数の割り当てが多くなり、たっぷり収穫を楽しんで頂きました。



今年も、第26回ということで満25年を経過し、その間ずっと芋畑をお願いし面倒を見てくださった日清園の清水様に、感謝状と記念品をお届け致しました。

10月というのに30度を超える真夏日となり、汗をかきながらの芋ほりでした。「さつま芋重さコンテスト」は、1等賞は佐藤賢司さんご家族の堀上げた2kgのさつま芋。ぶっちぎりの1位となりました。

今後、近隣稲門会からの参加も頂き、より幅広い交流の場となるよう、PRし継続して行きたいと思えます。



会員皆さんの投稿

早慶戦応援へのプレリュード

生川 博(昭41・政経)

早慶戦が近付くと決まって思い起こすことがある。1955年(昭和30年)、中学1年生の7月、真っ青な空に一片の小さな雲が浮いていた。次第に色づき、鮮やかな虹色になり、又薄れて消えた。これは、「彩雲」という珍現象で、古来より縁起物と言われているとか。市中では、何か朗報の兆しかと話題が沸騰した。

折しも、高校球児たちは、夏の甲子園を目指して地方予選の真っ只中。ここでも異変が起きた。後に母校となる、県立四日市高校が三重県大会で優勝し、隣接の岐阜県勢と甲子園の出場権を争い、これをも制して、甲子園初出場が叶った。甲子園でも、勝ち星を重ね、全国高校野球の頂点に立ち、深紅の大優勝旗を手にしたのである。甲子園初出場・初優勝で脚光を浴びた。又もや市中は大騒ぎ。あの天空ショーが予兆だったのかと。このとき私も高校野球から大きなインパクトを受けた。

中学時代は、専らプロ野球の熱い少年ファンであったが、相手球団の投手が完全試合達成を目前にしたところで、最頂球団のファンがグラウンドに雪崩込んで妨害し、試合中断。このファンの態度に幻滅し、プロ野球の応援と縁切りした。

高校に進学すると、学校の年中行事として県立商業高校との野球の定期戦があり、応援歌や応援スタイルを練習した。試合当日(土曜日の放課後)は、全校生徒が港湾地区にある、市営球場に集合して、応援合戦を繰り広げた。緊張感の漂う熱戦と統制の取れた応援に歓喜しつつ、グラウンドとスタンドの一体感を覚えた。翌日の新聞には、“港の早慶戦”と称して大きく報じられた。応援スタイルも“早慶戦もどき”であったことが懐かしい。

こうして中学、高校時代の私を取り巻く環境から、自ずとアマチュア野球応援の深みに引き込まれていった。

そして、早稲田大学に入学したお陰で、学生

野球の最高峰、東京六大学野球リーグ戦と早慶戦なる大イベントに辿り着いたのである。早慶戦応援の初舞台では、神宮球場で目に映るあらゆるものに圧倒され、感慨無量であった。

今も、2007年に入会した「早慶戦を応援する会」の皆さんと一緒に、神宮球場で早慶戦を応援し続けている。

昨年の早稲田は、春秋連続して、9年ぶりの2連覇を遂げ、リーグ最多・48回目の優勝を果たし、沸きに沸いた。今年もこの勢いで連覇を重ねてくれるものと信じている。



(写真は、斎藤佑樹が1年生の2007年、春季リーグ優勝と大学野球選手権大会優勝の記念ボール)



3

「荒ぶる会」と私

杉本 武彦(昭43・理工)

私が早稲田ラグビーを応援する日野稲門会の同好会「日野荒ぶる会」に入会したのは2010年新町交流センターで開催された総会で「日野荒ぶる会」初代会長の英さんからのお誘いからでした。飄々とした飾らないお人柄でその場で入会しました。

当時は帝京が強く(歴史に残る9連覇のさなかです)2019年に決勝で明治を破る迄の10年間早稲田は大学日本一から遠ざ



早稲田ラグビーを応援しよう!

かっていました。かつて大学日本一は早稲田が明治、たまに他大学がなる位でしたが20年ほど前からラグビーに力を入れる大学が増え、優勝するのも大変になってきました。

今年は当会会長を庄山幸司さん（昭57年理工）にお願いしての初年で、春季大会では明治に36-26、慶応には52-27と好調な出だしで大いに期待されましたが6/16の帝京戦は7-60とボロ負け、すっかり意気消沈しておりました。ところが11/3の関東大学対抗戦の対帝京戦では48-17とダブルスコアー以上の大勝。帝京が強くなってからこれほど大差での勝利は記憶にありません。その後も慶応には57-3。明治には27-24とひやりとしましたが終わってみれば2007年以來の関東大学対抗戦で全勝優勝し、大学選手権に挑むことになりました。

今年は初めて女性会員が参加されての観戦となりました（ご夫婦、ご家族でのご参加はこれまでもありましたが）。早稲田の快進撃は勝利の女神参戦のお蔭と私はひそかに思っています。

又、写真に載っている「祝荒ぶる大学日本一」の横断幕

は、清宮監督の下で大学日本一になった時に当時新宿でレストラン「ビストロベルゲン」



（早稲田ラグビー部のたまり場で早稲田ラグビー一大ファンの吉永小百合さんも時々顔を出されていたそうです）で開かれた祝勝会の席に飾られたものです。オーナーシェフをされていた早稲田ラグビー部特別会員の上野哲夫様から頂いたもので、当荒ぶる会のお守りです。

当会は初代会長の英さんの方針の下、入金・年会費無し、早稲田ラグビーを応援して下さる方ならどなたでも入会OKというきわめてオープンな会です。毎年対抗戦の早帝戦、早慶戦、早明戦の3 悲願の日本一目指し帝京戦を応援！ 戦の応援と早

明戦後の「勝っても負けても祝勝会」をメインに活動をしています。この機会に是非大勢の皆さまのご参加をお待ちしています。

私が英様から会長を引き継いでから10年、お陰様で毎年楽しいラグビーシーズンを送ることが出来ました。英様はじめ諸先輩方、会員の皆さま、いつも快くチケットの手配を下さる早稲田ラグビーOBの佐藤和吉様、今年から会長を引き受けて下さった庄山様には感謝しかありません。今後共「日野荒ぶる会」発展の為お力添えをお願い致します。寒さも厳しい折、皆さま方もお体に気を付けてお過ごしください。

（「荒ぶる会」前会長）

「百草山の四季」

日野市の植物・昆虫を紹介するパンフレット

青木 孝則(昭50・政経)

私は日野稲門会と日野市民間団体の「日野団塊世代広場」の両方の会員です。稲門会には所属していませんが、先輩の杉村さんは団塊世代広場で大変な仕事をしてくれました。彼は電機メーカーの広報部門でコピーライターをしていた経歴を活かして、定年後日野市の野生生物の写真を写し、レイアウトをして小冊子形式のパンフレットを作りたいと思っていたそうです。そこで予算を団塊世代が負担し、無料で配布すると言うことをしました。野草が終わると欲が出てきて今度は昆虫や樹木といった範囲に広がりを見せ、8冊まで作りました。

市民フェアなどで配布をしまして好評でした。皆さん図鑑だと日野にないものが出ていて迷いますが、これだと特定ができるので良いと異口同音の感想を言ってくれます。私は資金担当を行い、補助金を獲得するため提案書作りと採用面談時点での弁舌に力を入れました。野草や昆虫の写真には短いコメントを杉村さんが



書くのですがこれに疑問がたくさん出てきます。つまりある特定の資料に頼って書くのですが、他の資料からは別のコメントがあります。最終判断は杉村さんですが、私がチェックを担当しました。結構しんどい仕事でした。9年前はGoogle フォトがなかったので、図書館で行いました。

市民フェアでは杉村さんが資料の説明をします。中には大学生で生物クラブに入っているような人が来ると少しマニアックな知識を披露して驚かせてやります。例えばクロアゲハにそっくりな蛾がいるとか。普通擬態というのは何らかのメリットがあるのにこの場合はわからない。今後研究したらどうかとか。カブトムシの場合はドライアイスで冷やして仮死状態にすると羽が開きます。内側の羽まで開くのはこの時だけです。それだけでも興味深いのに羽をしまうときは複雑な動きをします。宇宙空間にて飛ぶ人工衛星、探査機が太陽光パネルを開いて衛星に着地するときのメカニズムに使われています。もちろん着地後に太陽光パネルを収納するときには最大限効果を出します。こんな話を若い人にして驚かせてやります。

最近ではCHAT-GPT も使っています。時代の進歩には驚かされます。このような仕事は日野稲門会では出来ません。しかし人材は稲門会の方が豊富なので両方をうまく使うということが大事です。

お遍路のススメ

根津 千幸(昭62・政経)

2024年の3月から4月にかけて四国八十八霊場をお遍路で歩いて廻りました。一口にお遍路と言っても、交通手段(自家用車、団体ツアー、徒歩、自転車など)、一度に88霊場を廻る(「通し打ち」という)か一部を廻る(「区切り打ち」という)か、1番礼所から始めて時計回りに88番礼所まで廻る(「順打ち」という)かその逆回り(「逆打ち」という)かなど、さまざまなやり方があります。私の場合は歩く



のが好きなので、徒歩で「順打ち」で「通し打ち」をしました。一番礼所がある徳島から歩き始めて、高知、愛媛、香川と合計約1,200キロの道のりを41日かけて廻りました。

歩き遍路のポイントはいかに背負うザックを軽量化するか(体重の10%位が目安とされる)と、いかに足をケアしてマメなどを防止するかです。礼所の中には山の上にあるお寺も多く、険しい坂道が続く難所は「遍路ころがし」と言われますが、歩き始めて3日目に訪れた12番礼所は「遍路ころがし」の中でも最大の難所と言われおり、私も山を降りた後に両足首が腱鞘炎になり1週間ほどは足の痛みを耐えながら歩きました。幸いその後は足も治り、多くのお遍路さんが悩まされるマメもできずに比較的快調に歩くことができました。

重いザックを背負って毎日30キロ前後歩くのはしんどく、雨、暑さ、幹線道路を歩くときの退屈さ、肩の痛みなどとの戦いの毎日でした。しかし、歩き遍路をやっていると一日にいくつもの小さな幸せを味わうことができます。朝元気の時間に歩く爽快感、地元の人や宿の人から受けるさまざまな「お接待」(いろいろな食べ物や飲み物をもらいました)や親切、目的の礼所や宿に着いた時の達成感、お遍路宿での食事や風呂、お遍路仲間との交流やまた会えた時の喜び、歩いてこそ感じられる美しい四国の自然や花木など。また、88霊場を廻り終えた際の達成感は格別です。

私の場合は歩きで一度に八十八霊場を廻りましたが、最初に述べたとおり、お遍路にはさまざまなやり方があり、時間と予算と体力に応じて選ぶことができますので、ご関心ある方はぜひ!

ご参考まで、最近始めたブログに記した旅行記のリンクを載せておきます。

<https://seizetheday27.com/category/travel/s-hikoku-pirglimage/> ⇒ QRコード参照



カラオケ同好会

幹事：小笠原 豊 080-5532-0781
ogasawaray@jcom.zaq.ne.jp

バードウオッチング会

幹事：玉木 雅治 090-4840-3261
tamaki423@gmail.com

早慶戦を応援する会（野球）

幹事：生川 博 090-5302-2775
hiroikawaikiiki@outlook.jp

源氏物語を読む会

幹事：玉木 雅治 090-4840-3261
tamaki423@gmail.com

テニス同好会

幹事：青木 雅介 090-5794-0847
aokimarchan@gmail.com

男の料理塾

幹事：松島 修 080-7833-5901
o.matsus28@gmail.com

ゴルフ同好会

幹事：京極 英二 090-2417-5618
kr64uy@bma.biglobe.ne.jp

健康麻雀同好会

幹事：上田 實 080-9340-8388
umjthey@jcom.zaq.ne.jp

荒ぶる会（ラグビー）

幹事：庄山 幸司 090-6027-8404
ko_shoyama@ybb.ne.jp

ハイキング同好会

幹事：南 正隆 090-8109-3871
minami.masataka@akane.waseda.jp

史跡巡りの会

幹事：上田 實 080-9340-8388
umjthey@jcom.zaq.ne.jp

競馬観戦を楽しむ会

幹事：京極 英二 090-2417-5618
kr64uy@bma.biglobe.ne.jp

同好会連絡先

日野稲門会には12の同好会があります。各同好会の内容や活動など詳細はホームページに掲載していますので、ご覧ください。入会希望などの連絡先は左記のとおりです

会員募集

皆さんのお友達・お知り合いで、日野市に在住・在職・ゆかりある早稲田大学卒業生を日野稲門会に勧誘ください。

こちらのホームページに楽しいイベントや同好会活動を掲載しています。

メールでも申込できます。



日野稲門会ホームページ 入会申し込みはコチラ

編集後記

2024年、早稲田スポーツは大活躍で面白い話題を提供してくれました。

日野稲門会には野球とラグビーを応援する同好会があります。それぞれの同好会を長くリード頂いた先輩のお二人に優勝の喜びを書いていただきました。

応援を通じて選手たちから元気をもらえますので、皆さんもスタンドで大声を出してみましょ！スカッと晴れやかな気持ちになります。

発行：早稲田大学校友会 日野稲門会

編集長：五十嵐 耕一（広報担当）

編集委員：京極 英二、宮本 誠二、上田 實、松島 修、庄山 幸司

日野稲門会広報担当のメール

hinotomonkai.kouhou@gmail.com